愛知県立大学
Aichi Prefectural University

愛知県政記者クラブ・名古屋教育・医療記者会
瀬戸市記者クラブ　同日発表

2026 年 10 月 27 日（火）
愛知県公立大学法人 愛知県立大学
担当 学術情報部 研究支援・地域連携課
尾澤・稲生
電話　0561－76－8843
E-mail　kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学 ２０２６年度グローバル学術交流事業
プラネタリーヘルスとアマゾンから考える持続可能な未来

開催のお知らせ

愛知県立大学では、グローバル人材育成を目指し、グローバル学術交流事業を実施しております。その取組として、また教養教育科目講義の一環として、国内外から著名な研究者等をお招きし、学外にも開かれた講演会を開催しています。今年度は以下のとおり開催いたしますので、是非、貴社にてお取り上げいただきますとともに、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

【概　要】 本講演会シリーズは、プラネタリーヘルスの視点から、気候危機、森林保護、先住民の知恵と権利、そして持続可能なエネルギーのあり方を多角的に考えることを目的とします。日本とアマゾン地域をつなぐ3つの講演を通して、地球環境と人びとの健康・暮らしが深く結びついていることを学び、より公正で持続可能な社会の実現に向けて、ともに考える機会とします。

＜第１回＞　２０２６年１１月２１日（土）１３：００～１５：３０
タイトル：「プラネタリーヘルスはどこにある？」
講師：渡辺知保先生（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授）

＜第２回＞　２０２６年１２月９日（水）１３：００～１５：３０
タイトル：「アマゾン熱帯雨林の保全と母子保健：エクアドルのアマゾン地域における アチュアル族およびシュアル族の先住民族の経験」
講師：ナルシーサ・マシエンタ氏（エクアドル先住民女性リーダー）
※講演言語：スペイン語（日本語同時通訳あり）

＜第３回＞　２０２７年１月３０日（土）１３：００～１５：３０
タイトル：「SDG7 は誰の持続可能性を守るのか ――ブラジル・アマゾンにおけるクリーンエネルギー開発と環境正義」
講師：舛方周一郎先生（慶應義塾大学法学部 准教授）
※オンライン登壇の可能性あり

【会　場】　愛知県立大学長久手キャンパス
学術文化交流センター（K 棟）（対面会場・定員 120 名）/オンライン（定員 200 名）
【交通ｱｸｾｽ】　東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩 5 分
【参加申込】　愛知県立大学地域連携センターWeb申込みシステム
（https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/）申込サイトはこちら→
【参加費】　無料
【主　催】　愛知県立大学　学術研究情報センター

関連する SDGｓ



2026年度グローバル学術交流事業

プラネタリーヘルスとアマゾンから考える持続可能な未来

本講演会シリーズは、プラネタリーヘルスの視点から、気候危機、森林保護、先住民の知恵と権利、そして持続可能なエネルギーのあり方を多角的に考えることを目的とします。日本とアマゾン地域をつなぐ3つの講演を通して、地球環境と人びとの健康・暮らしが深く結びついていることを学び、より公正で持続可能な社会の実現に向けて、ともに考える機会とします。

第1回

2026/11/21（土）13:00～15:30

プラネタリーヘルスはどこにある？

渡辺知保先生
（長崎大学大学院
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授）

講演内容

プラネタリーヘルスという言葉は、日本国内でも少しずつ広がりを見せている。プラネタリーヘルスとは何か、なぜ取り組む必要があるのか、どこから着手できるのかの3つの点について、誕生以来の言葉の意味の変化（広がり）、国内外での取り組みなどの現状と課題も紹介しつつ、一緒に考える機会としたい。

第2回

2026/12/9（水）13:00～15:30

アマゾン熱帯雨林の保全と母子保健：エクアドルのアマゾン地域におけるアチュアル族およびシュアル族の先住民族の経験

ナルシーサ・マシエンタ氏
（エクアドル先住民女性リーダー）

講演内容

エクアドルのアマゾン森林保全においてアチュアル族やシュアル族といった先住民族が行ってきた活動の実例を紹介し、生物多様性と先祖代々の知識の守護者としての先住民族コミュニティの重要な役割に焦点を当てます。また、母子保健の分野で行っている活動、特にアチュアル族およびシュアル族の先住民助産師の活動強化について共有します。

第3回

2027/1/30（土）13:00～15:30

SDG7は誰の持続可能性を守るのか
――ブラジル・アマゾンにおけるクリーンエネルギー開発と環境正義

舛方周一郎先生
（慶應義塾大学法学部 准教授）
※オンライン登壇の可能性あり

講演内容

本講演では、SDG7「エネルギーをみんなに　そしてクリーンに」を手がかりに、ブラジル・アマゾンのクリーンエネルギー開発を考えます。低炭素化や国家開発の名のもとで、地域社会や先住民の負担がどのように不可視化されるのかを、環境正義の観点から検討します。

関連するSDGs



会場	愛知県立大学　長久手キャンパス　学術文化交流センター（K棟）
交通アクセス	東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分
受講料	参加費無料
開催方法	対面・オンライン
申込み	愛知県立大学WEBサイトにアクセスいただき、特設ページよりお申込みください。 https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/
定員	対面120名、オンライン200名
主催	愛知県立大学　学術研究情報センター
問合せ	愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール	kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp

お申込みはこちら

Aichi Prefectural University
80th Anniversary

愛知県立大学
Aichi Prefectural University